

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年9月10日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年9月10日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【2号機滞留水移送装置のタービン建屋床ドレンサンプ排水流量(A)の指示不良について】 当直員が、2号機滞留水移送装置のタービン建屋床ドレンサンプ(A)運転時、排水流量の表示可能範囲を超えていることを確認。 また、ポンプ停止時も流量指示が出ているため流量計の不良と推定。 床ドレンサンプ(B)にて、移送および排水量測定が可能であるため、影響なし。 ポンプ停止時に指示が発生していることから、差圧式の流量計のため、検出ラインに詰まりがあり指示が正しくないものと推定。 停止時は、差圧が0になり流量が0となる。検出ラインに詰まりがると、差圧が出て流量も出る。 今後、検出ラインの清掃、および、当該計器を点検予定。</p>	GⅢ	9月7日
2	<p>【水処理集中監視装置の監視端末の不具合について】 当直員が、水処理集中監視装置の監視端末5台あるうちの1台が繰り返し再起動している不具合を確認。 当該監視端末を確認したところ、監視ディスプレイ9画面のうち4画面が表示不能。 電源を再投入したが改善されず。 当該監視端末の出力端子に接続されていたケーブルを他の監視端末の空き出力端子に繋ぎ換え、使用できなくなっていた4画面のうち2画面が使用可能な状態へ復帰。 当該監視端末は、2画面が表示できない状態であるが、切替えることにより残りの2画面も表示可能なため監視に支障なし。 今後、当該監視端末を交換予定。</p>	GⅢ	9月6日
3	<p>【5号機シャワードレンタンクの西側壁配管貫通部の流入水について】 当直員が、5号機シャワードレンタンクの西側壁配管貫通部の流入水を確認。 流入水を分析した結果、放射能検出限界値未満を確認。 このため、貫通部の流入水は、雨水と判断。 今後、当該流入箇所の止水を実施予定。</p>	GⅢ	9月7日
4	<p>【陸側遮水壁設備用冷凍機(2B-5)のフロン量の低下について】 協力企業作業員が、陸側遮水壁設備用冷凍機(2B-5)の点検においてフロン回収をした際、規定量440kgに対して約160kgの回収を確認。 現状の隔離内容や回収工程では回収しきれない潤滑油の溶け込み分、冷凍機ブラインクーラの残存量を考慮しても、200kg程度が不足していることから、過去の点検時に大気放出や漏えいしていた可能性があると推定。 冷凍機30台に対して運転台数は12~15台であり、他は予備であるため、設備への影響なし。 今後、点検・修理予定、および、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	9月7日
5	<p>【1号機原子炉建屋3階南側作業エリアの床面穿孔のための位置寸法確認作業における協力企業作業員の体調不良発生について】 協力企業作業員が、1号機原子炉建屋3階南側作業エリアの床面穿孔のための位置寸法確認作業終了後に体調不良となり、救急医療室へ入室。 救急医療室にて、熱中症Ⅰと診断され、処置を受け退出。 今後、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	8月6日